

(1) 竣 功 せ る

山紫水明の都に相應しき 京 都 一 の 賀 茂 大 橋

京都市都市計課長 木 村 喬

【架設の経過と位置】大正八年十二月決定した京都都市計書事業街路の中に新設される事に成つたもので、賀茂川と高野川の合流點に於て第四號線中に架設されたのである。本市内の鴨川中一番川幅が廣く約百間に及び、環境は特に山紫水明の名に背かぬ處であつて北には葵祭で名の高い下鴨神社の糺の森に連り、遠くは鞍馬比叡の連山を背景とし、東は近く西園寺公別邸清風荘より更に吉田山を越へて夏には大文字の焚火を眞正面に眺め、西岸は舊伏見宮邸の森に接し、下流は遙かに四條や新京極のネオンライトに現代味を添へ、之等の風致に適應する様特に設計上考慮を加へたのである。

【計畫の概要】前後街路の幅員が22米なので本橋も亦全幅23.2米長154米としたのである。

(1) 橋 體

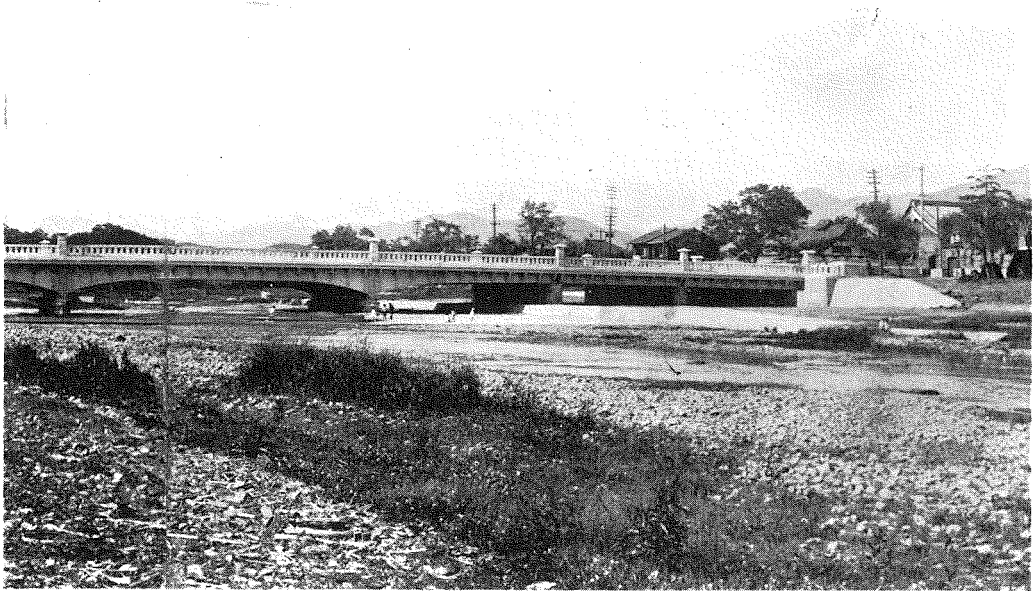
大體グルバー式に作る事とし、兩岸には單桁を配したのである。

單桁	五徑間 ^(東二) _(西三)	各徑間	12.9米
		桁 數	9行
桁高	軌 道	下 他	120種 100〃
桁重量			約5噸乃至7噸
センター・スパン	二徑間	各徑間	27.43米
桁高	橋脚上の桁		270種乃至240種
アンカー・スパン	二徑間	各徑間	17.73米

(2) 橋 脚 低水敷中三基 長 80尺
高 14尺
基礎 高 13尺 木造枠三組を各橋
長 20尺

脚下に沈下し内部玉石混凝土を填充す

高水敷の低水敷寄二基	長 80尺 高 24尺
基礎	高6尺の混凝土



賀 茂 大 橋 全 景

高水敷中兩岸寄(單桁下)三基 長 80尺
高 17.5尺
以上全部鐵筋混凝土造にして基礎根入
15尺乃至20尺あり。

(3) 高 欄

親柱並に各橋脚上には春日燈籠型の點燈を
施し此間の高欄は玉垣型とす、全部花崗石
造で燈籠の灯袋だけは青銅製である。

親 柱 高 7.63尺 幅 3尺 長 3尺
中 柱 高 7.13尺 幅 2尺 長 2尺

(4) 橋 面

車道 アスファルト・ 12種
ブロック舗装 (大小 6%)
24%

歩道 同 上 (同 3.8種)
30.0%
30.0%

【施工と材料】昭和五年四月工事に着手し本年
五月初旬竣功したので、此間水害を蒙つた事
2回で、工事は順調に進んだのである。

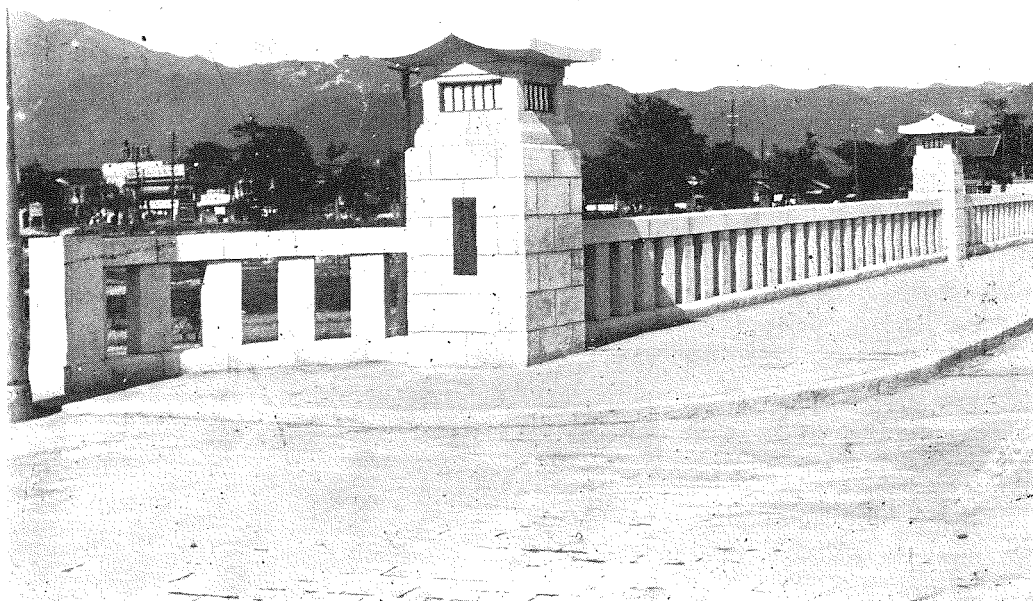
使用材料の主なるもの(護岸、川床止工等
の附帯工事を含む)

鋼 材(橋體用)	1,138噸
鑄 鋼 材(シュー等)	48噸
鐵 筋 材	134噸

石 材	3,568切
混 凝 土	841立坪
セメント	8,220樽
本工事に使用した職工數	
人 夫	10,488人
大 工	819名
鐵 筋 工	276名
石 工	4,630名
左 官	53名
薦 職	774名
鉸 鋸 工(現場打)	807名
塗 裝 工	221名
計 { 人 夫	10,488名
其他の技術工	7,580名
橋面一坪當	17.7%
鋼材一噸當	17%
總 工 費	約350,000圓
内鋼、鑄鋼材及製作費	約159,300圓

溫度伸縮は最長桁(センター・スパン及一方
のアームを加ふ) 33.5米に對し約1.5種であつ
て全部滑動袋置にしたのである。

電車の側柱は橋面上歩車道界に普通の通り
立てざるを得なかつたが、體裁上幾分遺憾の
感がある、本橋の製作は大阪鐵工所、工事は
本市内の増田組によつて請負施工されたもの
である。

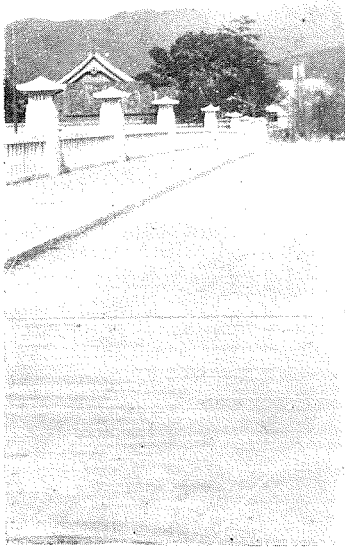


(2) 賀 茂 大 橋

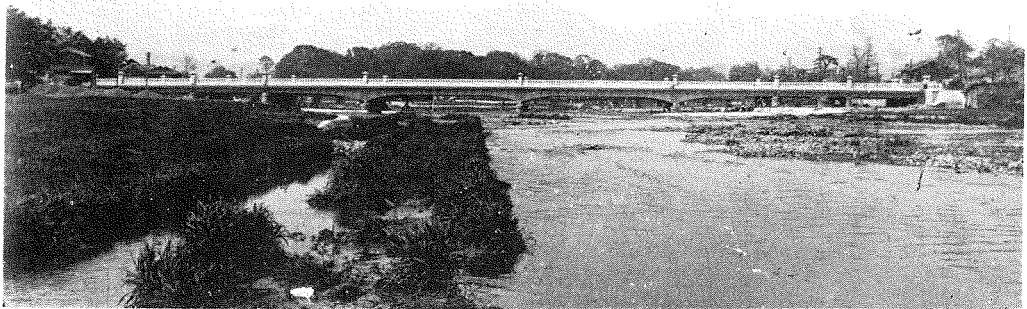


(3) 架橋前の景。架橋地點を下流より望む。中央の森は下鴨神社の森にして石の橋梁は高野川河合橋、左は鴨川葵橋である、共に大正三年頃架設(昭和五年三月)

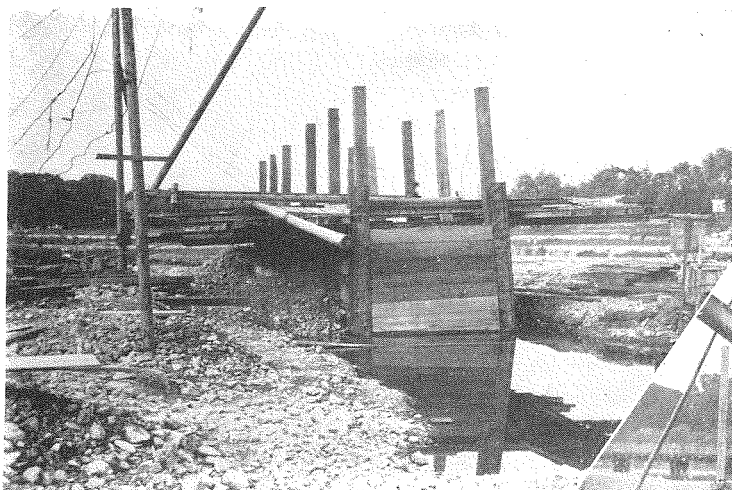
高欄の各灯袋には 100Wの電燈を取付けてある。照明の點に於ては充分と云はれないが、本橋としては周圍との調和上特に高燭を避けたのである。



正 面

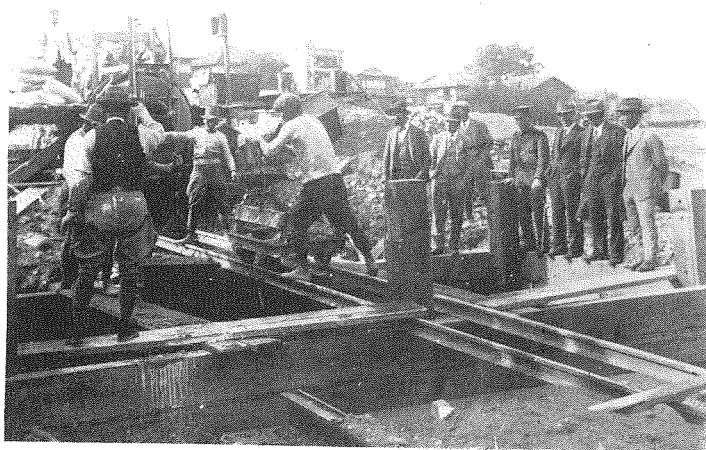
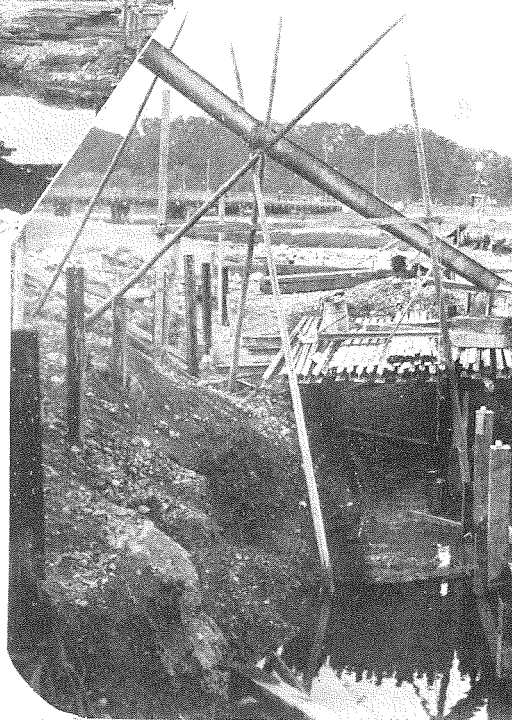


(4) 完成せる賀茂大橋を架橋前の寫眞と同位置より眺む(昭和六年五月四日)



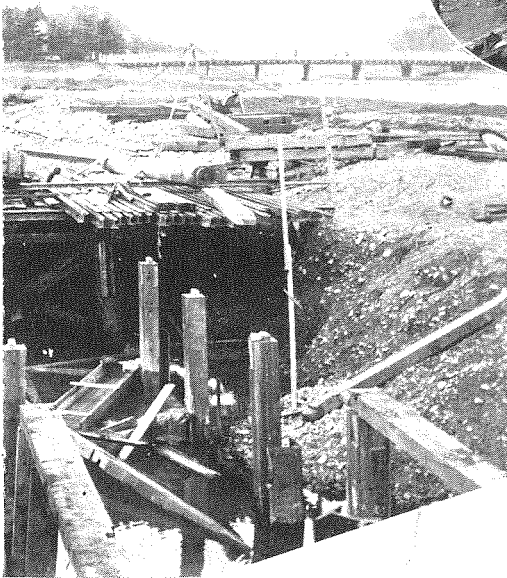
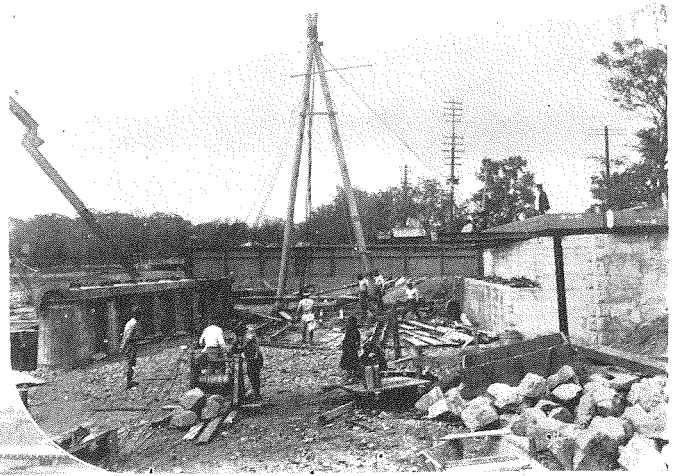
(6) 中央橋脚には木造箱
下荷重は約 10,000 貫、側板厚

(5) 賀茂大橋橋脚基礎箱枠沈下に際し、出水により浮び上り移動したるものを原位置に復せんとするもの。



(7) 基礎箱枠内は底部に水中混凝土を填充し、然る後玉石混凝土を填充した。その配合は L:3:6 玉石二割。

棒を基礎として沈下した。沈
0.75尺。



(8) 單桁長42呎4吋、此重量軌道下の分は
7噸、其他5噸。臺車を橋脚間に動かし吊上て
架設。

(9) 突桁アーム長20呎にして
兩アーム長を同一にして(40呎)
運搬架設し、一方は現場鉋打
とした。此一桁重量約15噸。

